

せったん

第123号 2009年9月5日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



支部発足20周年

第21回支部総会開く

記念講演

医療事故への対策は万全ですか？ ～診療所・病院のリスク管理～

北摂・丹波支部は、7月11日に設立20周年となる第21回支部総会を開催、総会議事・記念講演に18人が参加した。

北摂・丹波支部は、協会20周年の

記念講演は「医療事故への対策は万全ですか？」と題し、阪神合同法律事務所

1989年5月に、協会11支部の最後の支部として発足し、今回が20周年の支部総会。冒頭、森下順彦支部

医療法律相談室の川西讓弁護士が講演。医療事故に対する対応やリスク管理など

長から「支部創設21年目、引き続き先生方のご協力をよろしくお願い致します」と挨拶。さらに総選挙を目前に控え「社会保障を充実し開業医の要求を実現する政治に転換する絶好の機会としましょう」と訴えた。

福島県立大野病院 事件など事例も踏まえ、最近の医療裁判の特徴や日常診療の現場において留意すべき点について説明した。

総会議事では、08年度活動のまとめ・09年度活動方針案を森下支部長が提案し、支部活動への一層の協力を求めた。

終了後の懇親会にも多数の参加があり日頃の診療活動などの交流を深めた。

また、支部役員の改選では、現幹事全員の留任と新たに小寺修先生(三田市・歯科)を幹事に選出。また、協会役員の改選では武本淑子先生(三田市・医科)を予備評議員に選出、福田俊明先生(三田市・歯科)が理事に就任した。

里博文先生(丹波市・里皮フコクリニック)の感想文を掲載します。

【裏面】

【裏面】

また、支部役員の改選では、現幹事全員の留任と新たに小寺修先生(三田市・歯科)を幹事に選出。また、協会役員の改選では武本淑子先生(三田市・医科)を予備評議員に選出、福田俊明先生(三田市・歯科)が理事に就任した。

【裏面】

市民公開企画

「不都合な真実」 上映会&学習会

北摂・丹波支部は協会環境・公害対策部との共催で、アル・ゴア元米大統領が地球温暖化問題を訴えるドキュメンタリー「不都合な真実」の上映会を、8月2日に三田市のキッピーモールで開催した。

梅雨明けの遅れなど異常気象が続く環境問題に対する関心が高まっている中、市民ら75人が参加した。

地球温暖化の実態をさまざまなデータや映像で紹介する映画内容に、参加者からは「評判以上で、すばらしい説得力のある内容だった」「自然が人間の利便性追求によって破壊されていることがよくわかった」「子どもたちにも見せてあげてほしい」などの感想が多数寄せられた。



◆映画『不都合な真実』
製作：2007年 アメリカ 時間：94分
監督：デヴィス・グッゲンハイム
出演：アル・ゴア (ノーベル平和賞授与)
第79回アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞・アカデミー歌曲賞

上映前の学習会では、森岡芳雄環境・公害対策部長が「地球環境問題と私」をテーマに講演。大気汚染による気管支喘息の患者は現在も増え続けており、地球温暖化の解決のために、一人ひとりができるのかを考えなければならないと訴えた。

参加者からの感想文を紹介する。【裏面】

北摂・丹波支部役員 (敬称略)

【支部長】	森下 順彦 (再)	武中 睦美 (再)
【副支部長】	木村 忠史 (再)	安部 治郎 (再)
【支部幹事】	安部 治郎 (再)	武本 淑子 (再)
	廣瀬 智 (再)	大槻 栄人 (再)
	岡本 晴夫 (再)	中西 透 (再)
	福田 俊明 (再)	小寺 修 (新)
	多幡 秀隆 (再)	増田 耕一 (再)
	塩見 壮司 (再)	宮崎 直之 (再)
	水野 良司 (再)	高見 啓二 (再)

協会役員 (敬称略)

【理事】	森下 順彦 (再)	福田 俊明 (新)
【参与】	高見 啓二 (再)	安部 治郎 (再)
【医科評議員】	武中 睦美 (再)	安部 治郎 (再)
	木村 忠史 (再)	
(予備評議員)	廣瀬 智 (再)	武本 淑子 (新)
【歯科評議員】	大槻 栄人 (再)	中西 透 (再)
(予備評議員)	岡本 晴夫 (再)	



森下順彦支部長(左)と司会を務める木村忠史副支部長(右)

【表面からつづき】

【映画「不都合な真実」の感想】

★地球環境について考えるきっかけになった。こんなに深刻だったとは知らなかった。この映画を観て地球温暖化について考えようと思った。

★評判の映画だったので、できたら一度観てみたいと思っていました。評判以上の素晴らしい説得力のある内容で、特に元アメリカ副大統領ゴア氏の精力的な活動と行いに感銘を受けました。もっともっと多くの人に観てもらいたい映画です。

【学習会の感想】

★興味深かった。いろいろつながって多方面に影響がでるのだなと改めて実感。身近なECO始めます。

★現代社会の利便性ばかりの追求はダメだと考えさせられた。

★先生のお話はとても身近な問題をとても分かりやすくお話してくださったので、よかったです。

【協会への質問・要望】

★体と命を環境問題を含めて治療されようとなさって取り組んでいってくださることに敬意を表します。

★「シッコ」の映画も観ました。日本の医療制度は一体どっちに向かおうとしているのか？保険制度をなし崩しに民間保険会社丸投げしようとするのか。今の政府のやり方をみていると患者にも医療機関にも不都合な制度を押しつけているように思う。

★国民が安全で快適に生き死んでいけるような医療体制が確立されることを望む。

★いただいた「保険でより良い歯科医療を」のパンフレットは実に読み応えのあるもので、書かれている内容のほとんどは我々の知らなかったことばかり！あまりにもPRが足りなかったのではありませんか？後期高齢者医療制度も大切ですが、同時にここで書かれた内容はもっと大切だと感じました。勉強になりました。



川西讓弁護士



こつた訴訟の判決（福島・大野病院判決、東京・割り箸事故判決など）の具体的な事例や、

医療事故と医療過誤の違いなどの基礎的な知識から、最近実際に起こった訴訟の判決（福島・大野病院判決、東京・割り箸事故判決など）の具体的な事例や、

7月11日に、北摂・丹波支部総会記念講演「医療事故への対策は万全ですか？」診療所・病院のリスク管理（講師は阪神合同法律事務所の川西讓弁護士）を聞かせていただきました。

【表面からつづき】
里博文先生（里フ皮膚科クリニック・丹波市）の感想文を掲載します。（兵庫保険医新聞8月25日号掲載）

事故医療調査委員会、産科医療補償制度の問題点までを取り上げ、難解な内容を平易な言葉で説明していただきました。
中でも、医療裁判についてのインフォームドコンセント（IC）の重要性については、医療知識、常識に疎い裁判官はICを重視し、説明義務違反として攻められる場合が多いとのことでした。
しかし、現実的に、短時間の診療の中で完璧なIC説明することは不可能であると感じ、講演終了後にお尋ねしたところ、「裁判としてのICと診察上でのICは、ポイントが違う」「診察上でのICは、患者の知りたいことをいかに効率よく伝えられるか」ということでした。つまり、患者さんといくコミュニケーションをはかり、訴訟にならないように診療を大切にし、その上で、カルテも充実させて記載していく必要があるのだと理解しました。
川西先生のご講演のスライドの中で、「医療と患者の中に横たわる深い溝を埋めるためには、医師と患者



最近の医療裁判でのポイントを聞く

双方の努力が必要」と示されました。私たちは、丹波地域の医療崩壊に関して学ばせていただいておりますが（丹波医療再生ネットワーク）、医療崩壊に対する処方箋としても非常に共感できることと思えました。
ご講演は素晴らしい内容で、1時間30分では足りなかったのですが、懇親会にもご参加くださり、私の質問にも丁寧にご回答いただきました。あらためて、深謝致します。

【丹波市 里 博文】

レクリエーション企画

よしもと観劇バスツアー



日時 11月1日 (日) JR三田駅前 午前8時30分出発

定員 25人 参加費 10,000円 (※昼食代別)

三田駅(8:30) = 『なんぼグランド花月』にて新喜劇や漫才観賞(9:45-12:00)
= 昼食と自由行動・吉本笑店街や千日前などを散策(12:00-13:30)
= 池田『ラーメン発明記念館』にてマイカップヌードル作り(14:30-15:30)
= 宝塚『手塚治虫記念館』鑑賞(16:00-17:00) = 三田駅(17:45)

お問い合わせ、お申し込みは 078-393-1801・3 (平井・黒木) まで